

36路線72区間 現地調査報告会開催!

6月3日、支部主催「36路線72区間（地方ローカル線赤字問題）現地調査報告会を開催しました。

支部（飯山線・豊野駅～越後川口駅）、中野電車区（羽越本線、男鹿線）、池袋運輸区（釜石線・花巻駅～釜石駅）、中野車掌区（五能線・川部駅～深浦駅）新宿運輸区「越後（弥彦）線・柏崎駅～吉田（弥彦）駅」、支部と4分会の代表者が調査報告をしました。

「鉄道を残す事に注力するのが鉄道会社の使命だと思う。」「SLを何としても残してほしい。」「鉄道があるから観光も成り立っている。」「首都圏で黒字を出している分を地方路線に回してほしい。」「イベント列車があれば地域が活性化される。」「駅の近くで営業しているので、鉄道が無くなってしまったら困る。」など各線区の特徴や地域住民の意見などを出し合い現状の共有と今後の課題などを討論しました。

今回の現地調査で利用者や地域住民の意見、声を把握することが出来ました。地域の未来をどのように創りだしていくのか、そのために公共交通とはどうあるべきなのか深める取り組みとなり、今後も継続していくことを参加者全体で確認しました。



鉄道の未来を地域から考えよう!